

パーツ交換に取りかかる前に、必ずチェックリストに従って点検作業を必ず行ってください。

[保管用]



# アイルウォークα パーツ交換マニュアル

## 目 次

この「パーツ交換マニュアル」を必ずお読みいただき、大切に保管してください。

この「パーツ交換マニュアル」を必ずよくお読みいただき、十分ご理解の上、「メンテナンスチェックリスト」と「メンテナンスガイド」に従って作業をすすめてください。

なお、交換後のトラブルなどに関しては、一切保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

※この「パーツ交換マニュアル」による作業は、弊社契約の自社でレンタル、メンテナンスを行っている事業者様に限ります。

※メーカー修理対応時の修理品の返送料は、お客様のご負担となります。

※製品の品質向上のため仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

正しいメンテナンス作業のながれ	1
パーツ交換にあたって	1
ハンドル交換について	2
ブレーキ設定について	3
バッグ部系統	6
補修スプレー	8
シール系統	9
バネ系統	10
ネジ系統	12
樹脂パーツ①	15
樹脂パーツ②	16
車輪系統	18
ブレーキ系統	20
車体の保管・お手入れ・廃棄について	27

このガイドに関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、  
弊社サービス係までお問い合わせください。



株式会社 **アイルリンク**  
〒700-0971 岡山市北区野田 3-16-1 下電開発ビル 2F

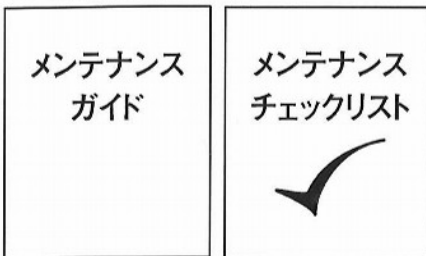
TEL **086-805-4550**  
FAX **086-805-4551**

## 正しいメンテナンス作業のながれ

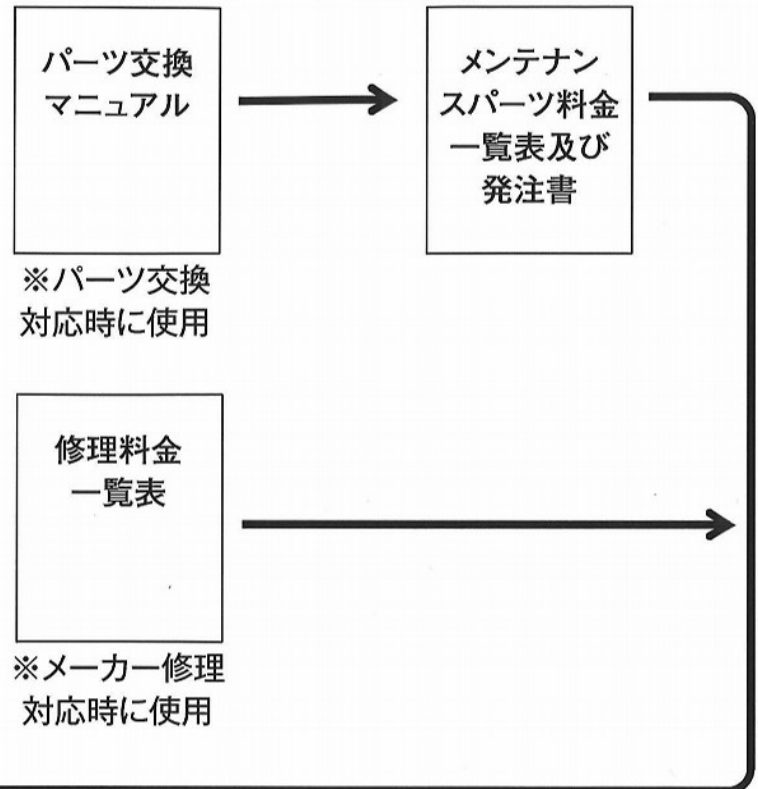
メンテナンスチェックリストに従って点検作業を行います。購入年月日、実施日、回数及び実施者の各項目に記入し、メンテナンスチェック項目に沿って点検作業を進めてください。

点検作業のなかで、異常や劣化などが見つかった場合は、必要に応じて修理料金一覧表・メンテナンスパーツ料金一覧表及び発注書・パーツ交換マニュアルを参照し、メーカーに修理を依頼するもしくはパーツ交換マニュアルを十分にご理解いただき、パーツ料金一覧表よりパーツを取り寄せ、交換を行ってください。交換までの作業をひと通り終了した後、その車体を再度メンテナンスチェックリストに従って点検作業を行い、異常や劣化のない車体に仕上げてください。

### ① 点検作業を行う



### ② 必要に応じてパーツの交換、修理を行う



### ③ 再度点検作業を行います。

異常がなければメンテナンス完了です。  
異常があった場合は②を行ってください。

## ⚠️ パーツ交換にあたって

- メンテナンスチェックリストに従い、交換するパーツを特定してください。
- パーツ購入の際は、ご使用分を目安としてご購入ください。また、ご購入された交換用パーツは、長期保管せずに早めにご使用ください。パーツの長期保管は、劣化・不良をまねく原因となることがあります。
- 交換するパーツに含まれる、附属パーツ(ナット類・ワッシャー類など)も必ず交換してください。
- お取り寄せいただいたパーツは改造などせずに、交換作業を行ってください。
- お取り寄せいただいたパーツは、パーツ交換以外の用途で使用しないでください。
- 弊社では、フレームの塗装は一切おこなっておりません。各事業所での補修をお願いいたします。
- スプレー缶などのエアゾール塗料は、可燃ガスと有機溶剤が入っているので、火気及び換気に十分注意してください。
- パーツ交換作業時、車体を地面に倒したりすることがあります。車体を傷つけないように注意してください。
- 前輪・後輪の交換時は、必ずそれぞれ左右の2輪を交換してください。
- 交換作業を行った箇所ナット類の「締め忘れ」がないか必ず確認してください。
- 車輪のナットの締め付けには十分注意してください。締め付けがあまい場合、車輪が脱落する恐れがあります。また、ナットが過度に締め付けられている場合、車輪の回転が悪くなる場合があります。

## ■ ハンドル交換について

### Wa-1：ハンドル交換

#### 取付方法

- ①ブレーキワイヤー(左右)を車体から外す
  - ①-1ブレーキワイヤーエンドかぶせ(左右)を外します。
  - ①-2ワイヤー止めナットから外します。
  - ①-3ワイヤー調整ネジから外します。
  - ①-4ワイヤー流れ止めからブレーキワイヤーを外します。
- ②ハンドルを外す
  - ②-1ハンドル高さ調節キャップを引き上げて、ハンドル高さ調節ピン(左右)を外します。
  - ②-2ハンドルをゆっくりと引き上げます。  
※取り外したパーツは後ほど使用するので大切に保管してください。
- ③ハンドルを取り付ける
  - ③-1ハンドルを車体へゆっくりとはめ込みます。
  - ③-2ブレーキワイヤーをワイヤー流れ止め(左右)に通します。
  - ③-3ワイヤー調整ネジ(左右)に通します。
  - ③-4ワイヤー止めナット(左右)に通します。
  - ③-5ハンドル高さ調節ピン(左右)を調節穴の最下段に差し込み、ハンドル高さ調節キャップ(左右)をはめ込みます。
  - ③-6ワイヤーの先端にブレーキワイヤーエンドかぶせ(左右)を取り付けます。  
※ブレーキワイヤーエンドかぶせは、お取り寄せしたハンドルに付属している新しいものを使用してください。
- ④ブレーキ設定をする  
※本書3ページ「ブレーキ設定について」参照

必要  
工具 10mm六角レンチ、ペンチ、ラジオペンチ



※ブレーキワイヤーの流れ図

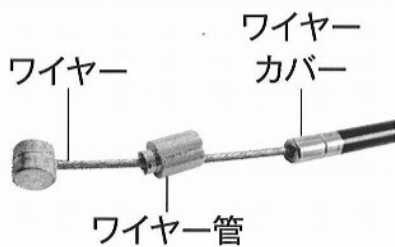


## ■ ブレーキ設定について

### ●ブレーキ設定前の確認

※下記内容をブレーキ設定前に必ず確認してください。

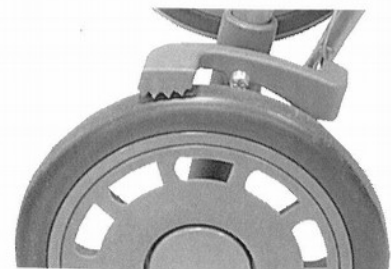
確認内容	対処方法
フレームにゆがみがない	メーカーへの修理
駐車用ストッパがかかっている	座面を上げる,ブレーキレバーを上げる
ブレーキワイヤーにワイヤー管が装着されている※下図参照	ワイヤー管を取り付ける ※本書22ページ「Wa-44:ブレーキワイヤー」参照
ブレーキワイヤーが折れていない	ブレーキワイヤーの交換 ※本書22ページ「Wa-44:ブレーキワイヤー」参照
ブレーキワイヤーを通した状態で、ワイヤーカバーがスムーズに動く※下図参照	ブレーキワイヤーの交換 ※本書22ページ「Wa-44:ブレーキワイヤー」参照
ブレーキワイヤーがハンドルから順にワイヤー流れ止め(2カ所)→ワイヤー調整ネジ→ワイヤー止めナットの順に通っている	ブレーキワイヤーを左記確認内容の順に通す ※本書22ページ「Wa-44:ブレーキワイヤー」参照
ブレーキワイヤーの先端にブレーキワイヤーエンドかぶせが装着されている	ブレーキワイヤーエンドかぶせを装着 ※本書24ページ「52:ブレーキワイヤーエンドかぶせ」参照
ハンドルの高さが最下段で固定されている	ハンドルの高さを最下段で固定する
ワイヤー調整ネジがきちんと締められている	ワイヤー調整ネジを締め切る※下図参照
後車輪が破損・摩りうしていない	後車輪を交換する ※本書18ページ「Wa-37:後車輪(車輪2枚)」参照
ブレーキタイヤ押さえの車輪と接する樹脂部が破損・摩りうしていない※下図参照	ブレーキタイヤ押さえを交換する ※本書17ページ「Wa-35:ブレーキタイヤ押さえ(左右2コSET)」参照



Wa-44:ブレーキワイヤーセット



51:ワイヤー調節ネジが閉まった状態



Wa-35:ブレーキタイヤ押さえ(左右2コSET)

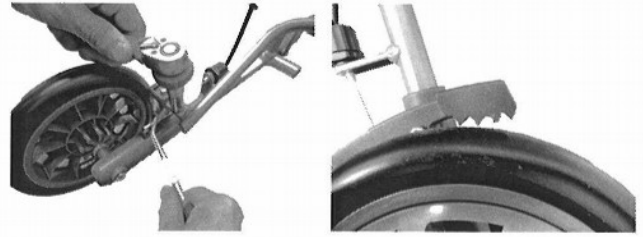


## ブレーキ設定方法

### 設定方法

- ①ブレーキワイヤーの片側どちらかの先端をラジオペンチで真下に引っ張りながら、ブレーキタイヤ押さえとの距離を約2.0mmに保ちつつ、ワイヤー止めナットを10mm六角レンチで締めます。
- ②もう片方のブレーキワイヤーの先端をラジオペンチで真下に引っ張りながらワイヤー止めナットを10mm六角レンチで締めます。

必要工具 10mm六角レンチ、ラジオペンチ



### ポイント

- ブレーキワイヤーの先端を引っ張る力はワイヤーのたるみを無くす程度です。
- ブレーキレバーはロックした位置ではなく、ニュートラルの状態での設定を行ってください。

### 設定後確認

- ブレーキレバーを片側ずつ握る際に、ブレーキレバーの“あそび”がないか確認してください。ブレーキレバーの“あそび”がある場合は、再度本書3ページ「ブレーキ設定前の確認」を行ってください。



駐ブレーキレバーを上図のように、ニュートラルの状態にするためには、ブレーキワイヤーの先端をラジオペンチで真下に引っ張りながらブレーキレバーを一度、軽く握ります。

### ブレーキレバーの“あそび”について

ブレーキレバーを引き上げる時に駐車用ストoppaがすぐに連動せずに時間差が生じることがあります。ブレーキレバーをゆっくりと真上に引き上げる時、実際にブレーキプレートが動き出すまでの「距離」「時間」などを総称的に“あそび”と呼びます。

### ブレーキレバーの“あそび”の主な原因

- ブレーキ設定の際に片方ずつブレーキワイヤーを引っ張りながら、ワイヤー止めナットを締めます。その際にどちらかのブレーキワイヤーを強い力で引っ張りすぎて、ワイヤー止めナットを締めた為にブレーキワイヤーの左右のバランスが影響し、ブレーキプレート自体が左右どちらかに傾いている。
- ブレーキワイヤーはいくつかの細かいワイヤーを束ねてできています。ワイヤーが破損し、ワイヤーカバーに引っかかり、ワイヤーカバー内で摩擦が生じて、ワイヤー自体の動きを鈍らせている。
- ブレーキ作動板の向きが逆に取り付けられている。

“あそび”には他にも様々な要因があります。ブレーキ設定を行わなければならないパーツ交換の作業をされた際、マニュアル通りに装着されていない可能性も含め、確認をしてください。確認後、“あそび”が修正されない場合は当社サービス係にて対応いたします。

●ブレーキ設定後の確認

※下記内容をブレーキ設定後に必ず確認してください。

※座面を上げた状態で確認してください。

確認内容	対処方法
<p>静止した状態でブレーキレバーを片方ずつ握り、ブレーキプレートが確実に連動して作動する</p>	<p>ブレーキワイヤーの先端を引っ張りながら、ワイヤー止めナットを締める際、ブレーキレバーがニュートラル状態でない可能性があります。「ブレーキ設定方法」より確認してください。</p>
<p>静止した状態でブレーキレバーを真下に下げると駐車用ストッパがかかる</p>	<p>ブレーキタイヤ押さえと車輪の距離が開きすぎている可能性があります。「ブレーキ設定方法」より確認してください。</p>
<p>静止した状態でブレーキレバーを真下に下げる時、ある程度の力で下げることができる</p>	<p>ブレーキタイヤ押さえと車輪の距離がせまい可能性があります。「ブレーキ設定方法」より確認してください。</p>
<p>静止した状態で座面を下げた時、駐車用ストッパがかかる</p>	<p>ブレーキタイヤ押さえと車輪の距離が開きすぎている可能性があります。「ブレーキ設定方法」より確認してください。</p>
<p>ゆっくり歩きながら両側のブレーキレバーを握っても、ブレーキが利く</p>	<p>ブレーキタイヤ押さえと車輪の距離が開きすぎている可能性があります。「ブレーキ設定方法」より確認してください。</p>

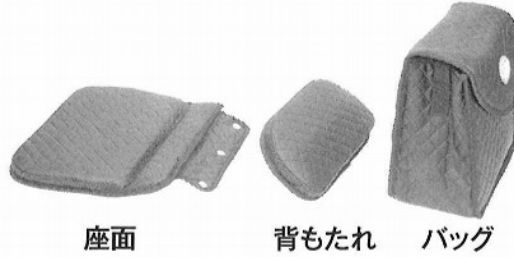
※ブレーキの設定は非常に重要です。ブレーキが利かない、駐車用ストッパがかからないなど不具合があると重大な事故につながりかねません。十分に動作確認を行ってください。

※「対処方法」より修正を行っても改善されない場合は、当社サービス係にて対応します。

## ■ バッグ部系統

### Wa-6： バッグ部本体（座面 + 背もたれ + バッグ）

※バッグ内の底板には Wa-15： 本体表示シールが貼付されています。



座面

背もたれ

バッグ

#### 取り付け・取り外し方法

##### <バッグ>

###### ○取り外し:

バッグ背面のポケットがバッグ受け部ベースフレームに差し込まれています。バッグを真上にゆっくりと持ち上げてください。

###### ○取り付け:

バッグ受けベースフレームにバッグ背面のポケットを差し込んでください。



##### <背もたれ>

###### ○取り外し:

背もたれは袋状になり、背もたれパイプに差し込んでいます。袋状になっている背もたれのホック1カ所を外し、真上にゆっくりと持ち上げてください。

###### ○取り付け:

袋状になっている背もたれのホック1カ所を外し、背もたれパイプにゆっくりと差し込んでください。



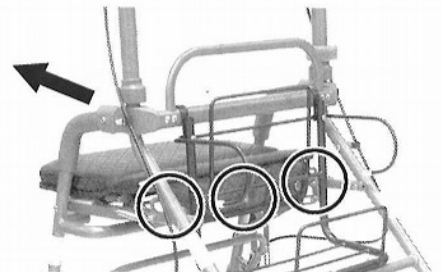
##### <座面>

###### ○取り外し:

座面の裏側は袋状になり、座面可動パイプに差し込んでいます。座面うしろ側の底面にある座面ホック3カ所を外し、座面を前にゆっくりと引っ張って外してください。

###### ○取り付け:

座面を座面可動パイプにゆっくりと差し込み、座面うしろ側の底面にある座面ホック3カ所を、座面ホックかけ棒を巻き込むようにとめてください。



### Wa-7： 底板 ※この底板には Wa-15： 本体表示シールが貼付されています

#### 取付方法

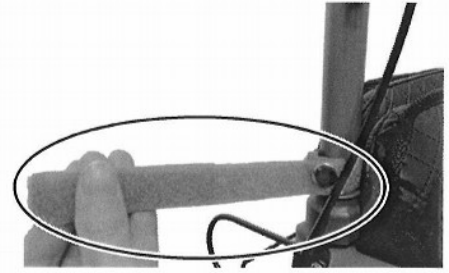
バッグを開けた時に本体表示シールを見えるように装着してください。



## L-16：傘止めバンド（ボタン式）

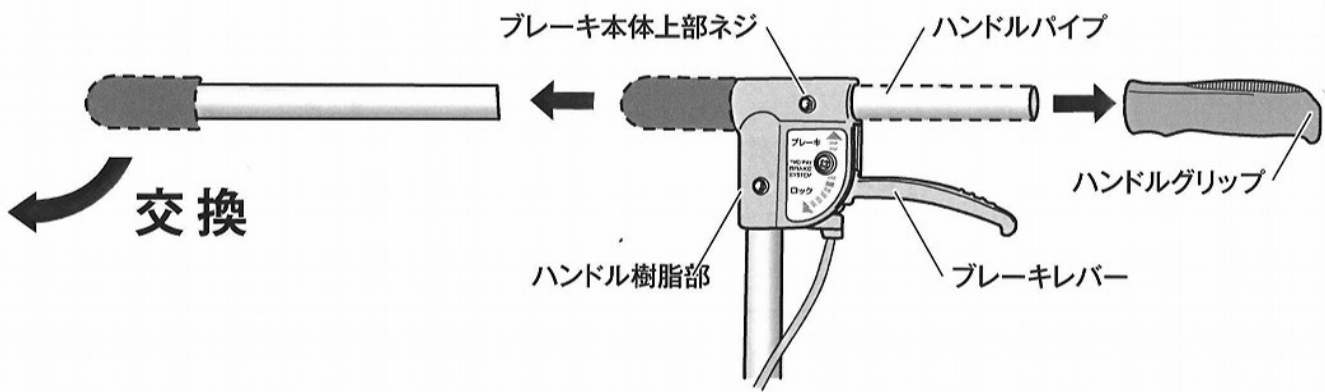
### 取付方法

ハンドルの左パイプ部に巻きつけるようにしてボタン1カ所を留めてください。



## Wa-8：ハンドル用ウレタンスポンジ

●ハンドル用ウレタンスポンジの交換には、ハンドルグリップが2本必要となりますが、ハンドル用ウレタンスポンジお取り寄せの際、セット内容に含まれません。交換の際には、別途L-34ハンドルグリップをお取り寄せいただくことをおすすめします。



### 弊社推奨 取付方法

- ①ハンドルグリップ(左右)の中心全体をカッターナイフで裂いて、ハンドルグリップを取り外してください。
- ②交換するハンドル用ウレタンスポンジの中心全体にカッターナイフで切り目を入れ、手で裂いて取り外してください。
- ③ハンドルの両側にあるブレーキ本体上部ネジを外してください。
- ④ハンドル用ウレタンスポンジが装着されているパイプをゆっくりと外してください。
- ⑤ハンドル用ウレタンスポンジの穴に水をつけて、取り外したパイプにゆっくりと少しずつはめ込み、ハンドル用ウレタンスポンジがパイプの中心から左右均等にくるように調整してください。
- ⑥ハンドル用ウレタンスポンジを装着したパイプをゆっくりとハンドル樹脂部に差し込んでください。
- ⑦ハンドルの両側にあるブレーキ本体上部ネジを取付けてください。  
※取り付けの際、ナットは、お取り寄せしたハンドル用ウレタンスポンジに付属している新しいものを使用してください。
- ⑧10分くらい約80度以上のお湯につけた新しいハンドルグリップの水気を拭き取り、ハンドルパイプの両側に差し込んでください。

**必要工具** ペンチ、プラスドライバー、カッターナイフ

**その他** 水、お湯(約80度以上)、布

**要追加購入パーツ** ハンドルグリップ

※カッターナイフのお取り扱いには十分注意してください。

※グリップは温かいうちに握り位置に合わせてください。

※熱湯のお取り扱いには十分注意してください。



## Wa-9：肘掛け用ウレタンスポンジ

### 取付方法

①交換する肘掛け用ウレタンスポンジにカッターナイフで切り目を入れ、手で裂いて取り外し、取り外した箇所のパイプの汚れなどを拭き取ってください。

②肘掛け部ネジ(左右)を外してください。

※取り外したパーツは後ほど使用します。無くさないように、ご注意ください。

③肘掛け用ウレタンスポンジの穴に水をつけて、後脚パイプ(左右)の装着位置へ少しずつゆっくりとはめ込みます。

④肘掛け部ネジ(左右)を取り付けてください。

※取り付けの際、ナットは、お取り寄せした肘掛け用ウレタンスポンジに付属している新しいものを使用してください。

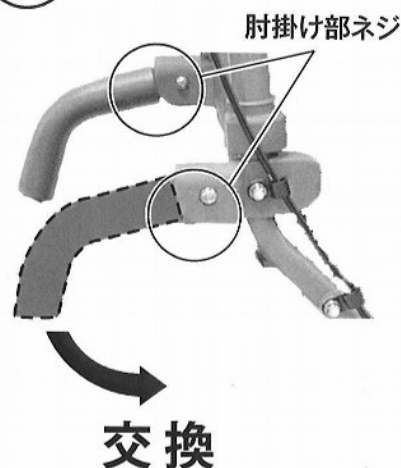
※カッターナイフのお取り扱いには十分注意してください。

※肘掛け部ネジを外すと、車体のバランスが悪くなるので注意してください。

※肘掛け部ネジは車体のバランスを保つ重要なネジです。取り付け後はナットに十分ネジが入っていることを確認してください。

必要  
工具 8mm用六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー、カッターナイフ

その他 水



## Wa-10：バッグ受け本体フレーム

## Wa-11：バッグ受けサイドフレーム

## Wa-12：バッグ受けベースフレーム

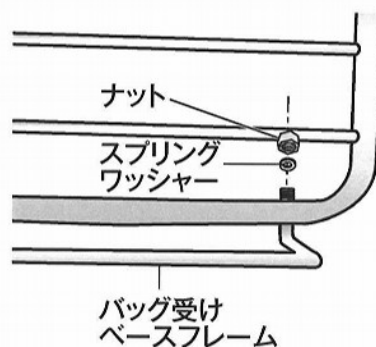
●袋ナット、ナットを締める際は、緩みが生じていないことを確認してください。

●各フレームの取付の際、袋ナット、ナットはお取り寄せした各フレームに付属している新しいものを使用してください。

※本書14ページ「Wa-28:バッグ受け本体取付ネジ(背もたれ部)」参照

※本書15ページ「Wa-29:バッグ受け本体取付ネジ(底部)」参照

必要  
工具 8mm用六角レンチ、ペンチ、プラスドライバー



## ■ 補修系統

### Wa-13：スプレー塗料

●スプレー缶などのエアゾール塗料は、可燃ガスと有機溶剤が入っているので、火気および換気に十分注意してください。

●スプレー塗料使用時、乾燥時ともに換気をよくし、マスクや手袋を着用して塗料のミストを吸い込んだり皮膚に触れないように注意してください。

●スプレー塗料ご使用前にスプレー塗料本体に表示されている説明をよく読み、ご使用・保管をしてください。

●スプレー塗料はフレーム部分の「塗装剥げ」「傷」の補修専用です。樹脂部分などには使用しないでください。

●補修前には、必ず補修部分の油分や錆、ほこりを取り除いてください。

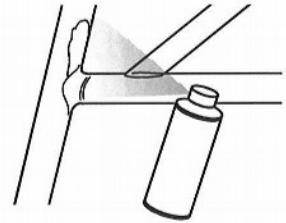


**補修方法**

- ①補修面の油分や錆、ほこりなどをよく落とします。
  - ②塗料が補修面以外に付着しないように、保護してください。
  - ③深い傷は、下の塗料がよく乾いてから、数回重ね塗りをしてください。
- ※スプレー塗料の色みは新品の車体の色が基準となっています。補修される部分の色の変退色などにより色みが正確に合わないことがあります。

必要  
工具

マスキングテープなど  
補修面以外を保護するもの



**■ シール系統**

**Wa-14：前輪キャスターシール**

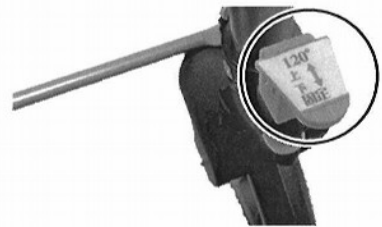
●シールの貼付作業前には、必ずパイプや樹脂部に付着してる油分やほこりなどを取り除いてください。

**取付方法**

古い前輪キャスターシールを剥がし、交換用の新しい前輪キャスターシールを貼付します。

その他

布



**10：反射シール**

**弊社推奨 取付方法**

車体に添付されている反射シールの上に新しい反射シールを貼付します。

**その他取付方法**

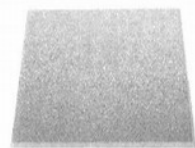
車体に貼付されてある反射シールを剥がして新しい反射シールを貼付する際は、ドライヤーなどで温めながらマイナスドライバーなどでそぎ落とすように慎重に剥がしてください。  
※剥がす際は、パイプを傷つけないよう十分に注意してください。

必要  
工具

マイナスドライバー

その他

布、ドライヤー



**13：ブレーキシール(左右2枚セット)**

**取付方法**

古いブレーキシールを剥がし、左右を確認して新しいブレーキシールを貼付します。

※ブレーキシール貼付箇所の樹脂がシールの形状にくぼんでいます。左右のブレーキシールの形状に合わせて貼付してください。  
※ハンドルの内側に、ブレーキシールは貼付しません。

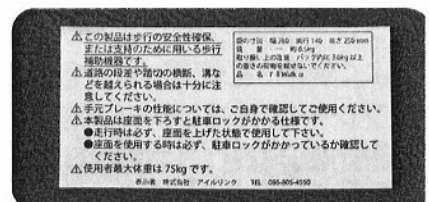


**Wa-15：本体表示シール ※バッグの底板に貼付されています**

**取付方法**

バッグを開け、バッグ底部に貼付されている古い本体表示シールを剥がし、底板中央部に新しい本体表示シールを貼付した後、底板をバッグに装着します。

※本書6ページ「Wa-7:底板」参照



## Wa-16：注意シール

### 取付方法

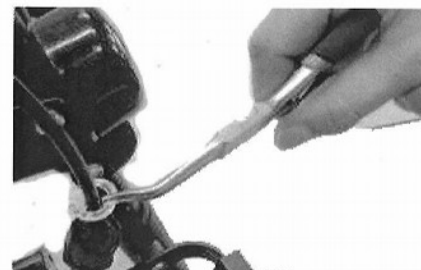
ハンドルパイプ(右側)の古い注意シールを剥がし、新しい注意シールを貼付します。



## 15：ブレーキ調整シール

### 取付方法 1

古いブレーキ調整シールを剥がし、はさみなどで1カ所切った新しいブレーキ調整シールをピンセットなどで差し込みながら貼付します。  
※ピンセットなどでシール上面を軽く押さえ、確実に貼付します。



### 取付方法 2

ブレーキワイヤーをワイヤー調整ネジから抜き、ブレーキ調整シールを切らずに方法1と同様に貼付します。

※本書23ページ「51:ワイヤー調整ネジ」参照

※お取り寄せいただいたブレーキ調整シールにブレーキワイヤーエンドかぶせは付属されておりません。別途お取り寄せが必要となります。

## ■ バネ系統

●バネを取り付ける際は、バネの先端で指などを傷つけないように注意してください。

●バネを取り付ける際に、無理に引き伸ばすとバネが伸びきり、バネの伸縮性が悪くなりますのでご注意ください。

### Wa-17：後輪ブレーキバネ

#### 取付方法

左右の後車輪の内側に後輪ブレーキバネを取り付けます。

※取り付け向きとバネの先端の向きに注意してください。

#### 取付後確認

ブレーキレバーを握り、ブレーキが正常に作動することを確認してください。

必要  
工具 ラジオペンチ



## Wa-18：前輪キャスターバネ

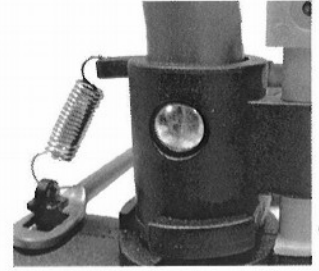
### 取付方法

前輪キャスター一部にある、樹脂の突起物に取り付けてください。  
 ※前輪キャスターバネの先端の円状になっている引っ掛け部は、左右形状が異なります。右図のように取り付けてください。

### 取付後確認

前輪キャスターを左右に振り、スムーズに回転するか確認してください。

必要  
工具 ラジオペンチ



## Wa-19：本体折りたたみバネ

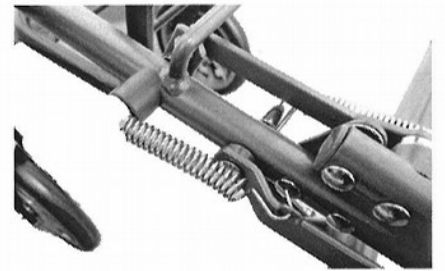
### 取付方法

車体の両サイドに取り付けます。  
 ※車体を折りたたんだ状態で取り付けるとスムーズです。  
 ※右図を参照し、取り付けの向き・バネの先端の向きに注意してください。

### 取付後確認

車体の開閉を数回行い、バネが外れないかを確認してください。  
 車体を折りたたみ、車体を折りたたんだ状態が維持できるかを確認してください。

必要  
工具 ラジオペンチ



## Wa-20：座面折りたたみバネ

### 取付方法

座面可動パイプの引っ掛け棒と車体内側の座面折りたたみバネかけ部リベットに取り付けます。  
 ※右図を参照し、取り付けの向き・バネの先端の向きに注意してください。

### 取付後確認

座面を折りたたんだ状態で、簡単に座面が倒れないことを確認してください。

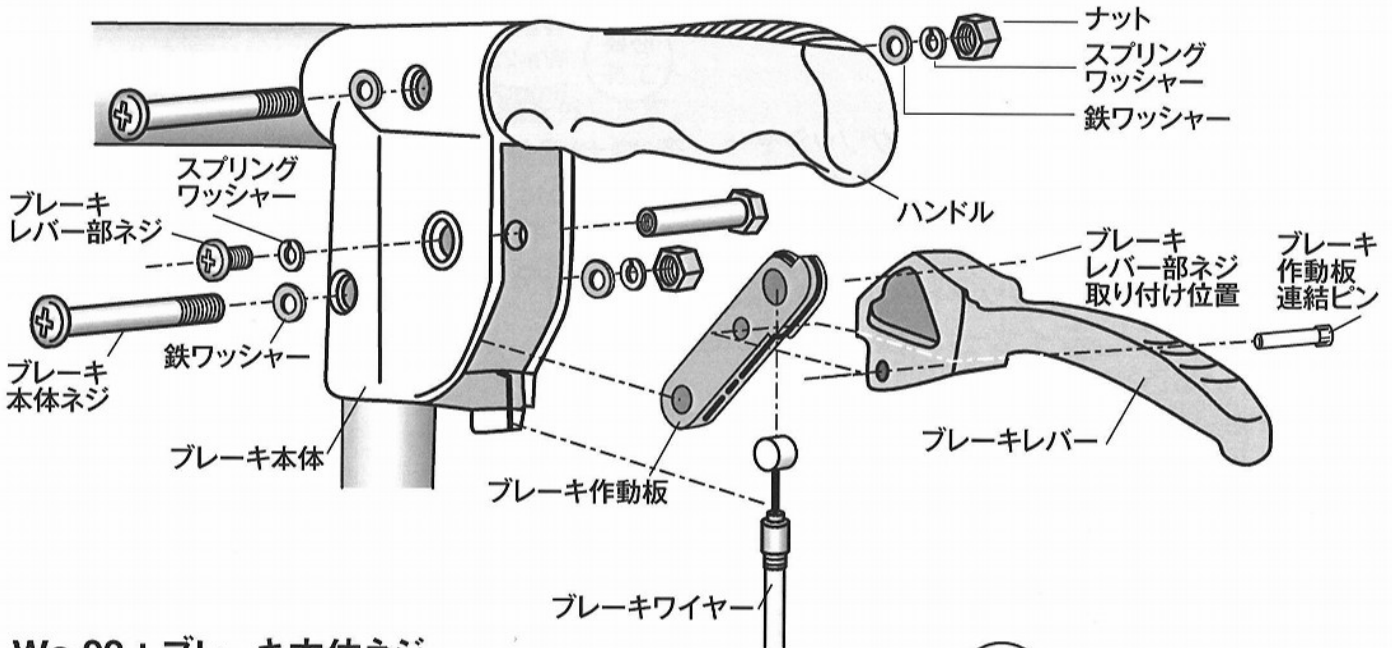
必要  
工具 ラジオペンチ





## ■ ネジ系統

- お取り寄せしていただいたネジセットに含まれる、附属パーツ(袋ナット・ナット・ワッシャー類)も必ず交換してください。
- 袋ナットを締める際は、ナットの袋部分に十分にネジが入っていることを確認してください。
- ナットを締める際は、ナットよりネジのネジ切り部が出るまで締め切っていることを確認してください。
- 取付後確認項目の作業を行い、袋ナットやナットに緩みが生じていないことを確認してください。



### Wa-22 : ブレーキ本体ネジ

#### 取付方法

ネジの向き、鉄ワッシャー、スプリングワッシャーを正確に取り付けて下さい。

#### 取付後確認

ブレーキレバーを握り、ブレーキが正常に作動することを確認してください。  
又、ブレーキレバーをロック位置にした際も駐車用ストッパが正常に作動することを確認してください。

必要  
工具 8mm六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー

### L-23 : ブレーキレバー部ネジ

#### 取付方法

ネジの向き、鉄ワッシャー、スプリングワッシャーを正確に取り付けてください。

#### 取付後確認

ブレーキレバーを握り、ブレーキが正常に作動することを確認して下さい。  
又、ブレーキレバーをロック位置にした際も駐車用ストッパが正常に作動することを確認してください。

## Wa-22：ブレーキ本体上部ネジ

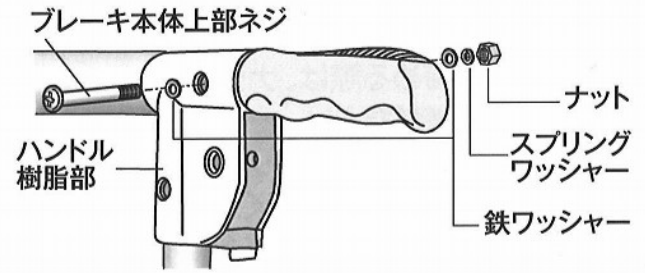
### 取付方法

ネジの向き、鉄ワッシャー、スプリングワッシャーを正確に取り付けてください。

### 取付後確認

ハンドル樹脂部とハンドル用ウレタンスポンジ部のパイプがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

**必要工具** 8mm六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー



## Wa-23：ワイヤー流れ止めネジ（上部）

### 取付方法

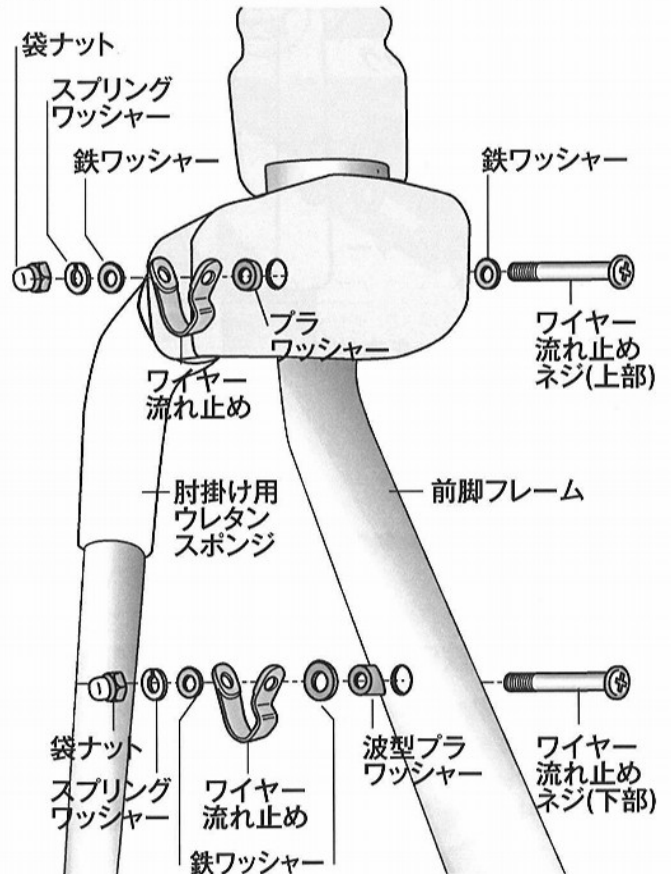
ネジの向き、鉄ワッシャー、スプリングワッシャー、プラワッシャーを正確に取り付けてください。

### 取付後確認

ワイヤー流れ止めやプラワッシャーが正確に取り付けられていること、ワイヤーがワイヤー流れ止めを通っていることを確認してください。

※本書7ページ「ブレーキワイヤーの流れ図」参照

**必要工具** Wa-22:ワイヤー流れ止めネジ(上部)、Wa-23:ワイヤー流れ止めネジ(下部)ともに 8mm六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー



## Wa-24：ワイヤー流れ止めネジ（下部）

### 取付方法

ネジの向き、鉄ワッシャー2種類、スプリングワッシャー、波型プラワッシャーを正確に取り付けてください。

### 取付後確認

ワイヤー流れ止めや波型プラワッシャーが正確に取り付けられていることを確認してください。ワイヤーがワイヤー流れ止めを通っていることを確認してください。

※本書2ページ「ブレーキワイヤーの流れ図」参照

## Wa-25：肘掛け部ネジ

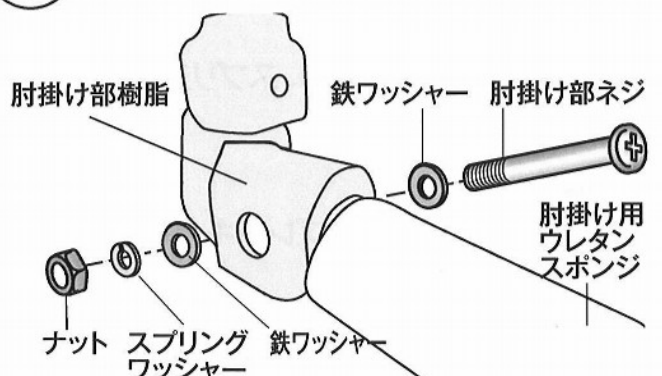
### 取付方法

ネジの向き、鉄ワッシャー、スプリングワッシャーを正確に取り付けてください。

### 取付後確認

肘掛け部樹脂が、しっかりと取り付けられていることを確認してください。車体の開閉を数回行い、違和感無く開閉が行えることを確認してください。

**必要工具** 8mm六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー



## L-27：傘受けブラケットネジ

### 取付方法

右図を参照し、ネジの向き、スプリングワッシャーを正確に取り付けてください。  
 ※袋ナットをしめる際、袋ナットの袋部分に十分ネジが入り込んでいることを確認してください。

### 取付後確認

傘受けブラケットの開閉が行えることを確認してください。



**必要工具** 8mm六角レンチ、ペンチ、プラスドライバー

## Wa-26：ブレーキタイヤ押さえ取付ネジ（長いネジ）

### 取付方法

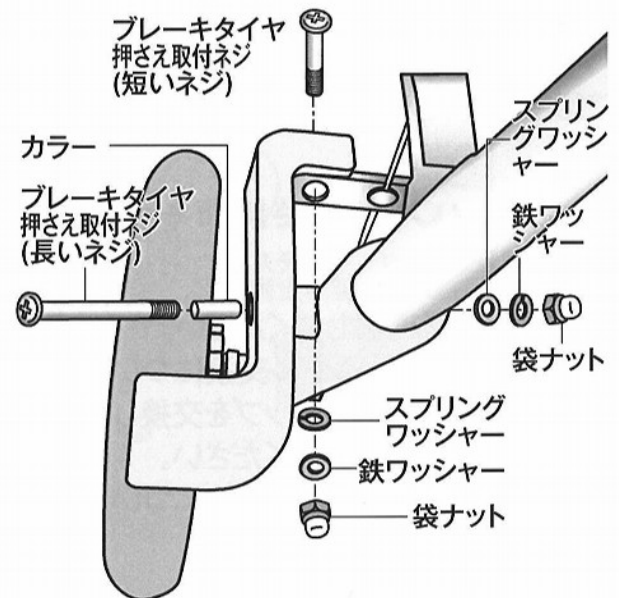
①左右どちらかの交換する側の後車輪を外します。  
 ※本書18ページ「Wa-37:後車輪(車輪2枚)」参照  
 ②ブレーキタイヤ押さえ取付ネジ(長いネジ)を交換してください。ネジの向き、鉄ワッシャー、スプリングワッシャー、カラーを正確に取り付けてくださ

### 取付後確認

ブレーキレバーを握り、ブレーキが正常に作動すること、ブレーキレバーをロック位置にした際も駐車用ストoppaが正常に作動することを確認してください。  
 車軸に取り付けたナットがきちんと締まっていることを確認してください。

**必要工具**

Wa-26:ブレーキタイヤ押さえ取付ネジ(長いネジ)  
 Wa-27:ブレーキタイヤ押さえ取付ネジ(短いネジ)ともに  
 8mm六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー



## Wa-27：ブレーキタイヤ押さえ取付ネジ（短いネジ）

### 取付方法

ネジの向き、鉄ワッシャー、スプリングワッシャーを正確に取り付けてください。

### 取付後確認

ブレーキレバーを握り、ブレーキが正常に作動すること、ブレーキレバーをロック位置にした際も駐車用ストoppaが正常に作動することを確認してください。

## Wa-28：バッグ受け本体フレーム取付ネジ（背もたれ部）

### 取付方法

ネジの向き、スプリングワッシャーを正確に取り付けてください。

### 取付後確認

バッグ受け本体フレームがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

**必要工具**

8mm六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー



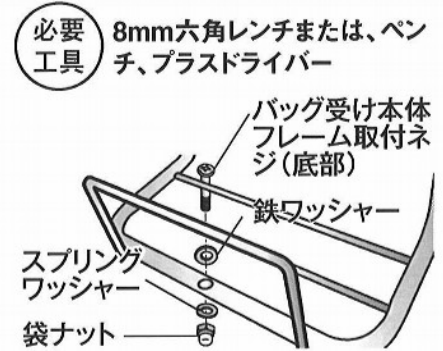
## Wa-29：バッグ受け本体フレーム取付ネジ（底部）

### 取付方法

ネジの向き、鉄ワッシャー、スプリングワッシャーを正確に取り付けてください。

### 取付後確認

バッグ受け本体フレームがしっかりと取り付けられていることを確認してください。



必要工具 8mm六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー

## ■ 樹脂パーツ①

### Wa-30：パイプエンドツメ6分パイプ用（座面受け部）

### L-70：パイプエンドツメ5分パイプ用（座面後部）

### Wa-31：パイプエンドツメ4分パイプ用（カゴフレーム上部）

### 取付方法

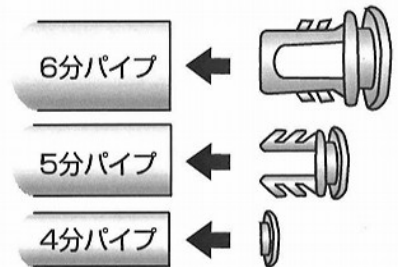
①古いパイプエンドツメをマイナスドライバーでパイプと樹脂の間に差し込み、抜き出して下さい。

②新しいパイプエンドツメをパイプに載せ、木槌で軽く叩き込んで下さい。

### 取付後確認

パイプエンドツメがパイプの穴にきちんと差し込まれていることを確認してください。

必要工具 木槌、マイナスドライバー



## Wa-32：ハンドル高さ調節キャップ

### 取付方法

①ハンドルを取り外してください。

※本書2ページ「ハンドル交換について」参照

②ハンドル高さ調節キャップを交換してください。

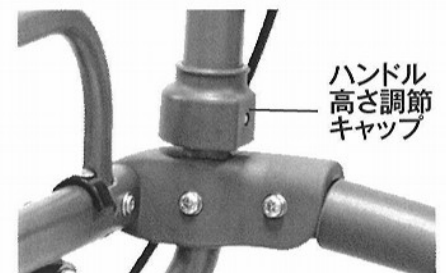
③ハンドルを取り付けてください。

※本書2ページ「ハンドル交換について」参照

### 取付後確認

ハンドル高さ調節キャップがハンドル高さ調節ピンにしっかりとはめ込めることを確認してください。

必要工具 10mm用レンチ、ペンチ、ラジオベンチ



## Wa-33：傘受けブラケット

### 取付方法

①傘受けブラケットネジを外してください。

②傘受けブラケットを新しいものに交換し、傘受けブラケットネジを取り付けてください。

※取り付けの際、ナットはお取り寄せした傘受けブラケットに付属している新しいものを使用してください。

※本書14ページ「27:傘受けブラケットネジ」参照

### 取付後確認

傘受けブラケットがスムーズに可動できることを確認してください。

必要工具 8mm六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー



## ■ 樹脂パーツ②

### L-34：ハンドルグリップ

#### 取付方法

- ①古いハンドルグリップをカッターナイフで中心をゆっくりと裂いてください。
- ②新しいハンドルグリップを10分くらい約80度以上のお湯につけます。
- ③新しいハンドルグリップをお湯から取り出し、水気を拭き取り、ハンドルパイプに差し込んで下さい。

- ※グリップは温かいうちに握り位置に合わせてください。
- ※カッターナイフのお取り扱いには十分注意してください。
- ※熱湯のお取り扱いには十分注意してください。

#### 取付後確認

ハンドルグリップが十分に冷めた後、ハンドルグリップをある程度の力で回しても、動かないことを確認してください。

### Wa-34：ステッキ固定樹脂（取付ネジ付き）

#### 取付方法

- ①ステッキ固定樹脂とハンドルを固定しているネジを取り外してください。
- ②ステッキ固定樹脂を交換して、ネジでハンドルへ固定してください。

#### 取付後確認

取り付けネジとステッキ固定樹脂がしっかりと取り付けられていることを確認してください。

### E-13：ハンドル高さ調節ピン

#### 取付方法

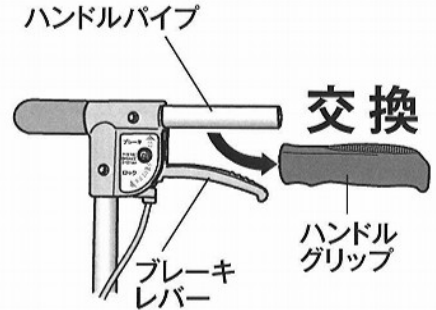
ハンドル高さ調節ピンを取り替えてください。

#### 取付後確認

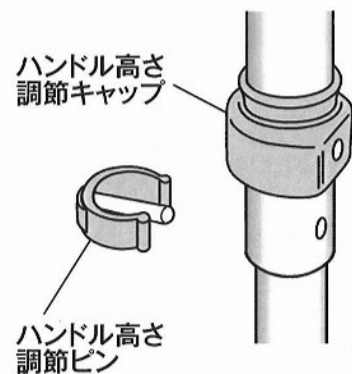
ハンドル高さ調節キャップにしっかりとめ込めることを確認してください。

必要  
工具  
カッターナイフ

その他  
お湯（約80度以上）、布



必要  
工具  
プラスドライバー



## L-38：ワイヤー流れ止め

### 取付方法

①交換する箇所のワイヤー流れ止めネジ(上部)、ワイヤー流れ止めネジ(下部)を外してください。

②ワイヤー流れ止めを交換し、鉄ワッシャーなどの附属部品とワイヤーをワイヤー流れ止めの中に入れた状態でネジを取り付けてください。

※取り付けの際、袋ナットはお取り寄せしたワイヤー流れ止めに付属している新しいものを使用してください。

※本書13ページ

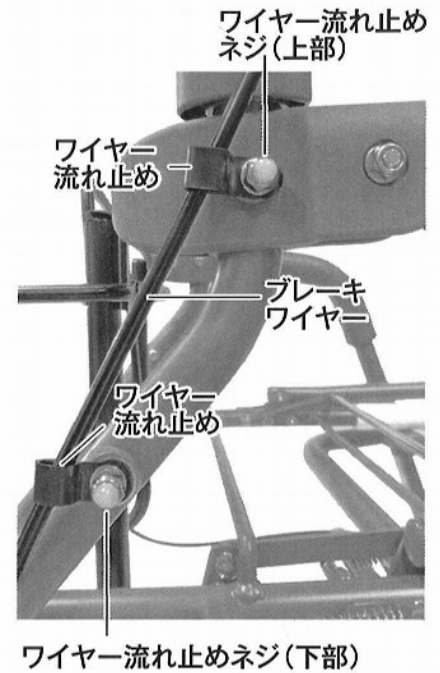
「Wa-22:ワイヤー流れ止めネジ(上部)」参照

「Wa-23:ワイヤー流れ止めネジ(下部)」参照

### 取付後確認

ネジがきちんと取り付けられていることを確認してください。

**必要工具** 8mm六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー



## Wa-35：ブレーキタイヤ押さえ (左右2コSET)

### 取付方法

①左右のブレーキタイヤ押さえ取付ネジ(長いネジ)とブレーキタイヤ押さえ取付ネジ(短いネジ)を取り外します。

②ブレーキタイヤ押さえを左右交換して、各取付ネジを取り付けてください。

※取り付けの際、袋ナットは、お取り寄せしたブレーキタイヤ押さえ(左右2コSET)に付属している新しいものを使用してください。

※本書14ページ

「Wa-26:ブレーキタイヤ押さえ取付ネジ(長いネジ)」参照

「Wa-27:ブレーキタイヤ押さえ取付ネジ(短いネジ)」参照

### 取付後確認

ブレーキタイヤ押さえがしっかりと取り付けられていることを確認して下さい。

※ブレーキタイヤ押さえを交換する際、必ず左右を交換してください。

※ブレーキタイヤ押さえを交換した際は必ず、ブレーキの設定をやり直してください。

※本書3ページ「ブレーキ設定について」参照

**必要工具** 8mm六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー

## ■ 車輪系統

- 車輪を交換する際は、必ず左右の前輪と後輪を交換してください。  
※車輪1枚だけの交換は車輪の動作が悪くなる恐れがあります。
- お取り寄せしていただいた車輪や車軸に含まれる、附属パーツ（ナット・袋ナット・ワッシャー類）も必ず、交換してください。
- ナットを締めるときは、ナットに十分にネジが入っていることを確認してください。  
※ナットや袋ナットの締め付けが不十分な場合は、車輪が脱落する恐れがあり、大変危険です。

### Wa-36：前車輪（車輪2枚）

#### Wa-38：前輪軸

##### 取付方法

- ①左右それぞれの前輪軸の袋ナットを緩めて、車輪を取り外します。  
※Wa-36:前車輪（車輪2枚）交換の際、取り外した前車輪内にあるカラーは、車輪を取り付ける際に使用します。無くさないよう、ご注意ください。
- ②車輪を交換し、車軸の向き・附属パーツを正確に取り付けてください。

##### 取付後確認

車軸に取り付けた袋ナットがきちんと締まっていることを確認してください。

### Wa-37：後車輪（車輪2枚）

#### Wa-39：後車軸

##### 取付方法

- ①車輪キャップと車輪との隙間にマイナスドライバーを差込んで、車輪キャップを外します。
- ②左右それぞれの後輪軸のナットを緩め、車輪を取り外します。
- ③車輪と附属パーツを正確に取り付けて下さい。

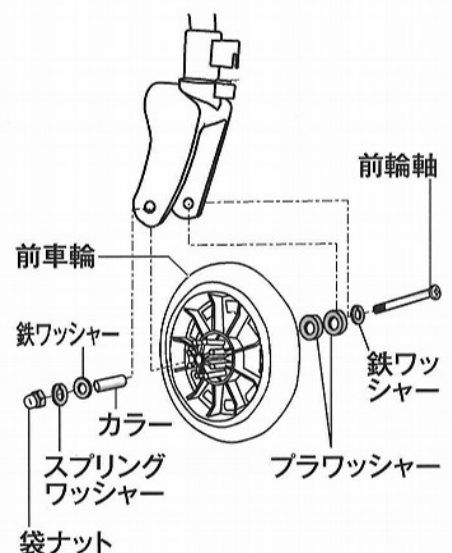
##### 取付後確認

車軸に取り付けたナットがきちんと締まっていることを確認してください。

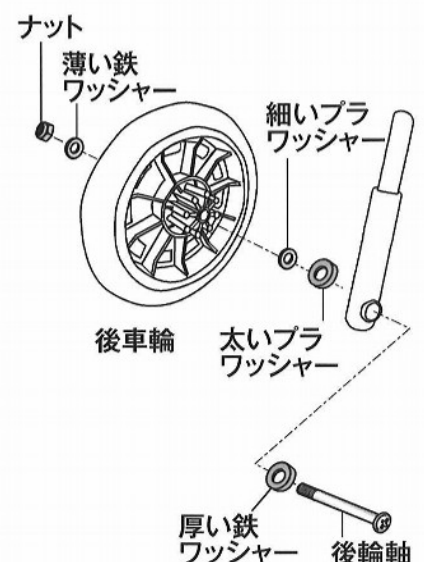
##### ポイント

車輪の裏側から車輪キャップのツメを押し出すと傷をつけずに車輪キャップを外すことが可能です。

必要工具 8mm六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー



必要工具 13mm六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー



## Wa-40：前輪キャスター（車輪無）

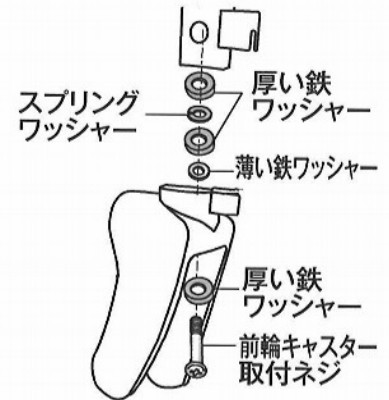
### 取付方法

- ①前輪軸の袋ナットを緩めて、車軸と車輪を取り外します。
- ②前輪キャスター取付ネジを緩め、前輪キャスターを取り外してから、前輪キャスターを交換して、附属パーツを正しく取り付けてください。

### 取付後確認

車軸に取り付けたナットがきちんと締まっていること、前輪キャスターがしっかりと取り付けられていることを確認してください。前輪キャスターを左右に振り、正常に可動できることを確認してください。

**必要工具** 8mm用六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー



## Wa-41：キャスター切り替えレバー（取付ネジ付き）

●車体の構造上、キャスター切り替えレバーの交換には前輪の取り外しが必要となります。

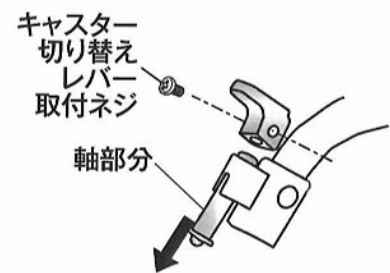
### 取付方法

- ①前車輪と前輪軸を取り外してから、前輪キャスターを取り外します。
- ②キャスター切り替えレバー取り付けネジを緩めて取り外します。
- ③キャスター切り替えレバー取り付けネジで新しいキャスター切り替えレバーを取り付けてください。
- ④前輪キャスター及び、前車輪、前輪軸を取り付けてください。  
※本書18ページ「Wa-36:前車輪（車輪2枚）、Wa-38:前輪軸」参照  
※本書19ページ「Wa-40:前輪キャスター（車輪無）」参照

### 取付後確認

取付ネジがしっかりと締められていることを確認してください。

**必要工具** 8mm用六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー



## Wa-42：スタビライザー（前輪キャスター部）

●車体の構造上、スタビライザーの交換は、左右どちらかの前輪キャスターを取り外す必要があります。

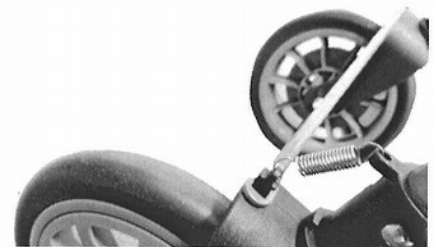
### 取付方法

- ①前輪キャスターを取り外してからスタビライザーを取り外します。  
※本書19ページ「Wa-40:前輪キャスター（車輪無）」参照
- ②新しいスタビライザーを取り付け、次に前輪キャスターを取り付けます。  
※本書19ページ「Wa-40:前輪キャスター（車輪無）」参照  
※スタビライザー交換の際、取り外していない前輪キャスター部にある樹脂の突起にスタビライザーの穴に入れてください。取り付け直す、前輪キャスターにも同様に穴に合わせてスタビライザーを取り付けた後に、前輪キャスターを取り付けて下さい。

### 取付後確認

車軸に取り付けた袋ナットがきちんと締まっていること、前輪キャスターがしっかりと取り付けられていることを確認してください。前輪キャスターを左右に振り、正常に可動できることを確認してください。

**必要工具** 8mm用六角レンチまたは、ペンチ、プラスドライバー





## Wa-43：後脚部樹脂

### 取付方法

- ①左右の後輪軸を外します。  
※本書18ページ「Wa-37:後車輪(車輪2枚)、Wa-39:後車軸」参照
- ②左右のブレーキタイヤ押さえ取付ネジ(長いネジ)を外します。  
※本書14ページ「Wa-27:ブレーキタイヤ押さえ取付ネジ(長いネジ)」参照
- ③左右の後脚部樹脂を新しいものに交換し、ブレーキタイヤ取付ネジ(長いネジ)を取り付けます。※本書14ページ「Wa-26:ブレーキタイヤ押さえ取付ネジ(長いネジ)」参照
- ④左右の後輪軸、後車輪を取り付けてください。  
※本書18ページ「Wa-37:後車輪(車輪2枚)、Wa-39:後車軸」参照

必要  
工具

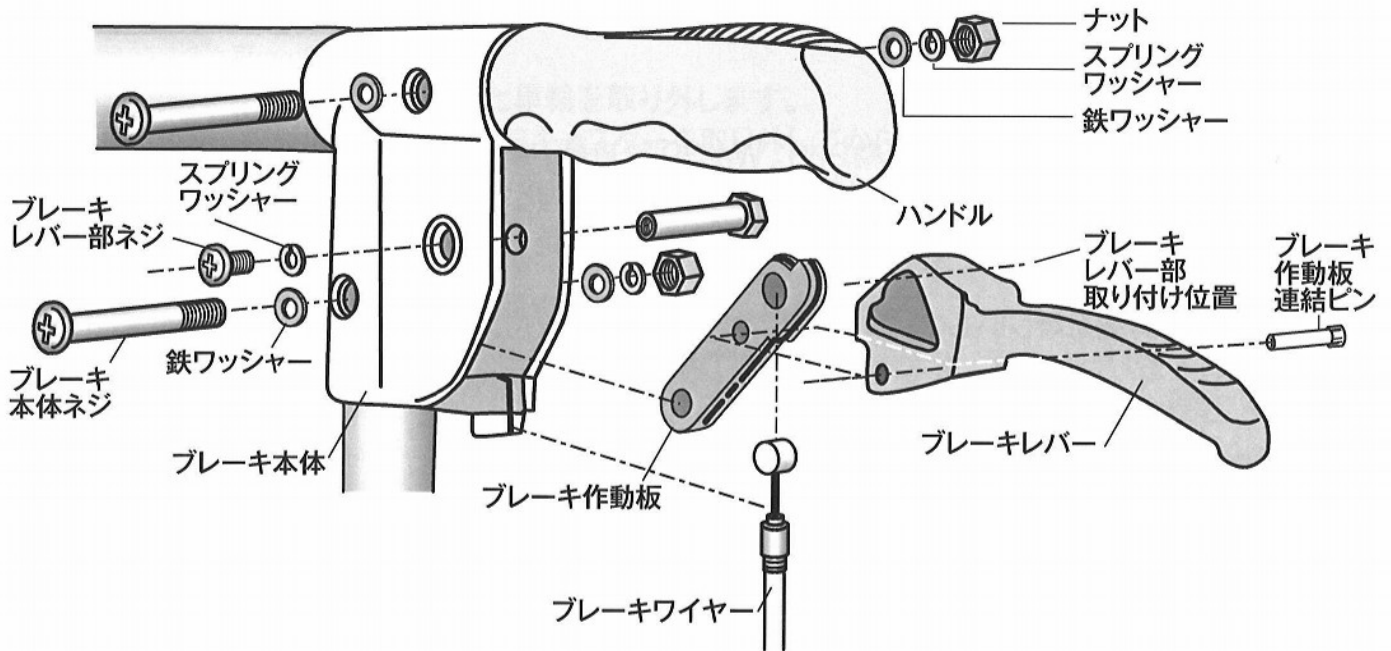
13mm用六角レンチ、8mm用六角レンチまたはペンチ・プラスドライバー、マイナスドライバー

### 取付後確認

車軸に取り付けたナットがきちんと締まっていることを確認してください。ハンドルレバーを握り、ブレーキが正常に作動すること、ブレーキレバーをロック位置にすると駐車用ストッパが正常に作動することを確認してください。

## ■ ブレーキ系統

- ブレーキ系統のパーツ交換の後は、必ずブレーキ設定をやり直してください。※本書3ページ「ブレーキ設定について」参照
- ブレーキ系統のパーツが破損した場合は、外部からの過度な圧力により破損している場合があります。交換の際には、他のパーツやフレームなどの点検を十分に行ってください。
- お取り寄せしていただいたネジセットに含まれる、附属パーツ(袋ナット・ワッシャー類)も必ず、全て交換してください。
- ナットを締める際は、ナットよりネジのネジ切り部が出るまで締め切っていることを確認してください。
- 取付後の確認作業とナットに緩みが生じていないことを確認してください。



## L-74 : ブレーキレバー

### 取付方法

- ①左右どちらかの交換する側のワイヤー止めナットを外します。
- ②左右どちらかの交換する側のブレーキ本体ネジを外します。  
※本書12ページ「Wa-21:ブレーキ本体ネジ」参照
- ③左右どちらかの交換する側のブレーキレバー部ネジを外します。  
※本書12ページ「L-23:ブレーキレバー部ネジ」参照  
※ブレーキレバーを取り付ける際に、このネジ類を使用します。ただしナットはお取り寄せしたブレーキレバーに付属している新しいものをご使用ください。
- ④ブレーキ作動板とブレーキレバーを留めている、ブレーキ作動板連結ピンをラジオペンチの尖った部分などで軽く押し出して、ブレーキレバーを取り外して交換します。
- ⑤ブレーキ作動板とブレーキレバーをブレーキ作動板連結ピンで組み立てます。
- ⑥ブレーキレバー部ネジを取り付けてください。
- ③左右どちらかの交換する側のブレーキレバー部ネジを外します。  
※本書12ページ「L-22:ブレーキレバー部ネジ」参照
- ⑦ブレーキ本体ネジを取り付けてください。  
※本書12ページ「Wa-21:ブレーキ本体ネジ」参照
- ⑧ブレーキ設定を行ってください。  
※本書3ページ「ブレーキ設定について」参照

必要  
工具  
8mm用六角レンチまたは、  
10mm用六角レンチ、プラス  
ドライバー、ラジオペンチ

### 取付後確認

ハンドルレバーを握り、ブレーキが正常に作動すること、ブレーキレバーをロック位置にした際も駐車用ストッパが正常に作動することを確認してください。

## Wa-44：ブレーキワイヤー

### 取付方法

①左右どちらかの交換する側のブレーキワイヤーエンドかぶせを取り外します。

※本書25ページ「52:ブレーキワイヤーエンドかぶせ」参照

②左右どちらかの交換する側のブレーキレバーを取り外します。

※本書21ページ「L-74:ブレーキレバー」参照

③取り外したブレーキ作動板より、ブレーキワイヤーを取り外し、新しいブレーキワイヤーに交換してから、ブレーキ作動板に取り付けます。

※本書24ページ「L-53:ブレーキ作動板」参照

※ブレーキ作動板をハンドルに取り付ける際の上下の向きに注意してください。

④ブレーキ作動板とブレーキレバーをブレーキ作動板連結ピンで組み立て、ハンドルに取り付けます。

⑤ブレーキワイヤーをワイヤー流れ止め2個所に通してから、ワイヤー調整ネジ、ワイヤー止めナットの順に通し、ワイヤーの先端にブレーキワイヤーエンドかぶせを取り付けます。

※本書25ページ「52:ブレーキワイヤーエンドかぶせ」参照

※取り付けの際、ナットとブレーキワイヤーエンドかぶせは、お取り寄せしたブレーキワイヤーに付属している新しいものを使用してください。

⑦ブレーキ設定を行います。

※本書3ページ「ブレーキ設定について」参照

### 取付後確認

ブレーキレバーを握り、ブレーキが正常に作動すること、ブレーキレバーをロック位置にした際も駐車用ストッパが正常に作動することを確認して下さい。

## 50：ワイヤー止めナット

### 取付方法

①交換するワイヤー止めナット側のブレーキワイヤーエンドかぶせを取り外してください。

※本書24ページ「52:ブレーキワイヤーエンドかぶせ」参照

②ブレーキワイヤーをワイヤー止めナットより外して、ワイヤー止めナットを交換してください。

③ブレーキワイヤーをワイヤー止めナットに通してブレーキワイヤーエンドかぶせを取り付けてください。

※本書24ページ「52:ブレーキワイヤーエンドかぶせ」参照

④ブレーキ設定を行ってください。

※本書3ページ「ブレーキ設定について」参照

必要  
工具 8mm用六角レンチ、10mm用六角レンチ、プラスドライバー、ラジオペンチ



必要  
工具 10mm用六角レンチ、ラジオペンチ

取付後確認

ブレーキレバーを握り、ブレーキが正常に作動すること、ブレーキレバーをロック位置にした際も駐車用ストッパが正常に作動することを確認してください。

※ブレーキワイヤーエンドかぶせは附属していません。

## 51：ワイヤー調整ネジ

取付方法

①交換するブレーキ調整ネジ側のブレーキワイヤーエンドかぶせを取り外します。

※本書25ページ「52:ブレーキワイヤーエンドかぶせ」参照

②ブレーキワイヤーをワイヤー止めナット、ワイヤー調整ネジから外し、ワイヤー調整ネジを交換します。

③ブレーキワイヤーをワイヤー調整ネジ、ワイヤー止めナットの順に通し、最後にワイヤーエンドかぶせを取り付けてください。

※本書25ページ「52:ブレーキワイヤーエンドかぶせ」参照

④ブレーキ設定を行います。

※本書3ページ「ブレーキ設定について」参照

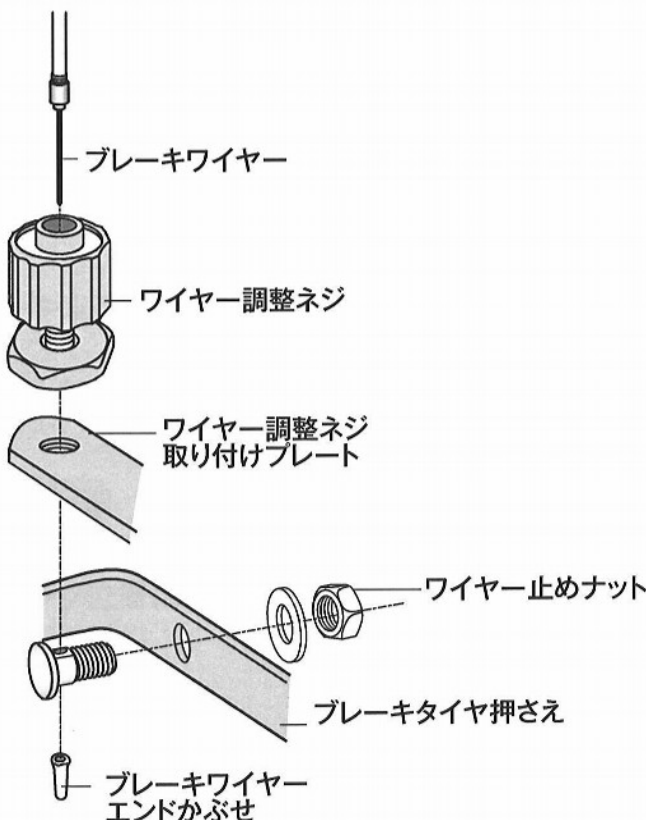
必要  
工具

10mm用六角レンチ、ラジオペンチ

取付後確認

ブレーキレバーを握り、ブレーキが正常に作動すること、ブレーキレバーをロック位置にした際も駐車用ストッパが正常に作動することを確認してください。

※ブレーキワイヤーエンドかぶせは附属していません。





## L-53：ブレーキ作動板

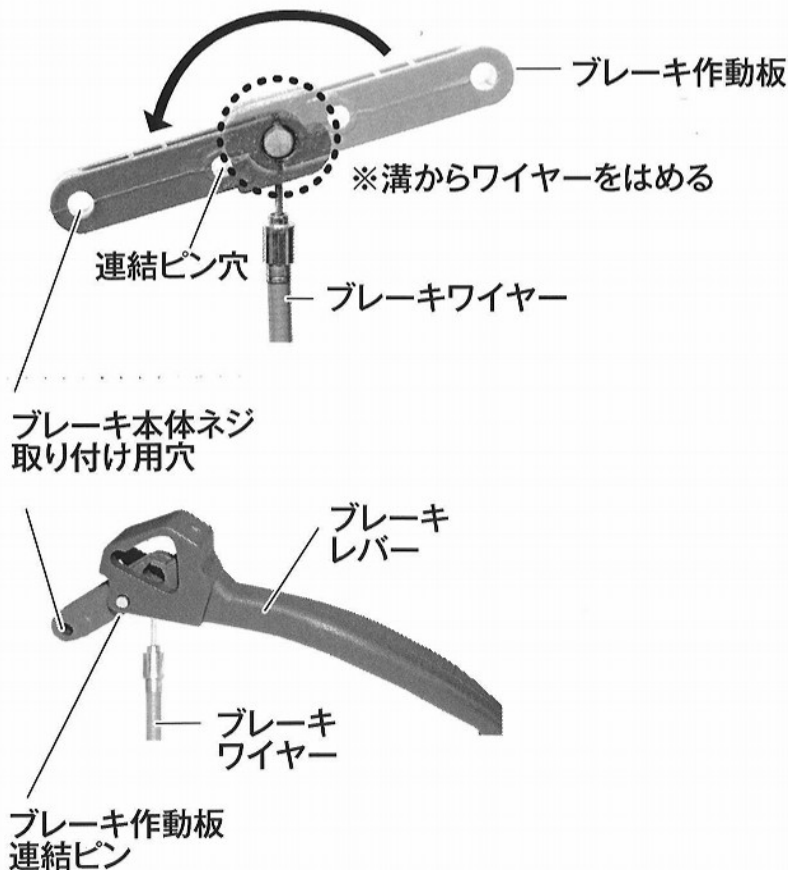
### 取付方法

- ①交換する側(左右どちらか)のブレーキレバーを取り外します。  
※本書21ページ「L-74:ブレーキレバー」参照
- ②取り外したブレーキ作動板を交換します。  
※右図参照  
※ブレーキ作動板をハンドルに取り付ける際の上下の向きに注意してください。
- ③ブレーキ作動板とブレーキレバーをブレーキ作動板連結ピンで組み立て、ハンドルに取り付けます。  
※ハンドルに取り付けの際、ナットは、お取り寄せしたブレーキ作動板に付属している新しいものをご使用ください。
- ④ブレーキ設定を行って下さい。  
※本書3ページ「ブレーキ設定について」参照

### 取付後確認

ブレーキレバーを握り、ブレーキが正常に作動すること、ブレーキレバーをロック位置にした際も駐車用ストッパが正常に作動することを確認してください。  
※本書21ページ「L-74:ブレーキレバー」参照

※180°回転させてから  
ブレーキレバーに取り付ける



必要  
工具  
8mm用六角レンチまたは、ペンチ10mm用六角レンチ、プラスドライバー、ラジオペンチ

## L-54：ブレーキ作動板連結ピン

### 取付方法

- ①左右どちらかの交換する側のブレーキレバーを取り外しています。  
※本書21ページ「L-74:ブレーキレバー」参照
- ②ブレーキ作動板とブレーキレバーを留めている、ブレーキ作動板連結ピンをラジオペンチの片側の尖った部分等で軽く押し出してブレーキ作動板連結ピンを取り外し交換し、ハンドルに取り付けてください。  
※本書24ページ「L-53:ブレーキ作動板」参照
- ③ブレーキ設定を行って下さい。  
※本書3ページ「ブレーキ設定について」参照

必要  
工具

8mm用六角レンチまたは、  
10mm用六角レンチ、プラス  
ドライバー、ラジオペンチ

### 取付後確認

ブレーキレバーを握り、ブレーキが正常に作動すること、ブレーキレバーをロック位置にした際も駐車用ストッパが正常に作動することを確認してください。

※ブレーキ作動板連結ピンをお取り寄せの場合、ナットは付属して  
おりません。

## L-43：ナイロンナット（後車輪止め）

### 取付方法

Wa-37:後車輪(車輪2枚)・Wa-39:後輪軸の交換の際に使用します。  
※本書18ページ「Wa-37:後車輪(車輪2枚)な・Wa-39:後車軸」参照

### 取付後確認

Wa-37:後車輪(車輪2枚)・Wa-39:後輪軸取付後確認を参照してください。  
※本書18ページ「Wa-37:後車輪(車輪2枚)な・Wa-39:後車軸」参照

必要  
工具

13mm用六角レンチ、プラス  
ドライバー

## 52：ブレーキワイヤーエンドかぶせ

### 取付方法

ワイヤーの先端にワイヤーエンドかぶせを奥まで入れ込み、ラジオペンチで潰してください。

### 取付後確認

ブレーキワイヤーエンドかぶせがしっかりと取り付けられていることを確認してください。  
※ワイヤーの先端は指などを傷つけてしまう恐れがあります。  
必ず、ワイヤーの先端に取り付けてください。

必要  
工具

ラジオペンチ



**おつかれさまでした。車体をご使用される前には必ず、メンテナンスチェックリストで確認を行ってください。**

## 車体の保管・お手入れ・廃棄について

### ※保管・お手入れについて

- 火気の近くでの保管はしないでください。
- 非常口や消火器類の前での保管はしないでください。
- 雨ざらしにしないでください。錆や劣化の原因となります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。
- 長期間使用しない場合は、高温多湿の場所は避けてください。
- 寒暖の差が激しいところでの保管は、バッグなどの変色や硬化、車体の劣化、動作不良などの原因となる場合があります。
- メンテナンスが終了した車体であっても、長期間保管していた場合は、再度、メンテナンスチェックリストによる点検作業を行ってください。

### ※廃棄について

- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。